

イタリア・アグリツーリズモ・ワークショップ

中央大学法学部 教授 工藤 裕子

hirokokd@tamacc.chuo-u.ac.jp

目的

イタリアではなぜ、田舎が元気なのか？

イタリアの小都市はなぜ、(人口は少なくても) 限界集落にならないのか？

なぜ若者が中山間地域の小都市で事業を興したり政治に携わったりするのか？

なぜ若者が農業に就くのか？ 人材はいかにして育成できるのか？

地中海式ダイエットの代表格である伝統的なイタリア料理はいつ、どのようにして確立したのか？ ユネスコ世界無形文化遺産登録間近のイタリア料理の現代的意味とは？

スローフードとは何か？ キロメートル・ゼロ運動とは？ EU および国内の原産地呼称・地理的表示とは？

中小企業・零細企業ばかりの地場産業がさかんな理由は？ 伝統工芸を支える次世代を育成する方法は？

ウェルビーイングを支える食、スポーツ、生き方とウェルネス産業とは？

持続可能な産業、持続可能な観光は可能か？

アグリツーリズモとは？ アグリツーリズモはなぜコロナに強かったのか？

ポスト・コロナ時代の観光業とは？

これらへの答えを、政治・行政・企業関係者への取材、また体験を通して考えていただきます。

*特徴

1. **ファッジョーリ農場(ボルゴ・バジーノ)に6泊6日滞在し、エミリア＝ロマーニャ州内を広く深く視察**します。インテンシブな一週間を過ごします。

2. 今年度も体験、見学に加え、関係者との懇談を重視します。また、全体的に時間にゆとりを持たせ、訪問先の数を絞り、一か所での滞在時間を長めにします。

3. これまで実質半日だった**ミラノに2泊します。美術館や博物館、オペラ鑑賞などの機会が増えます。希望があれば博物館のアテンド・ツアーを検討**しています。

4. **ローマ着が午前中になったことに伴い、ローマの滞在時間も増えました。**実質一日半ありますので、有効活用いただけるかと思います。

5. 2022年度以来、ロシアのウクライナ侵攻に伴う航路の変更・減少および燃料費の高騰、また円安ユーロ高に伴い、航空券、現地交通費、現地宿泊費が高騰していますが、農場滞在費については据え置いていただいています。

1. 行程（案）：別添

2. 費用

（旅行代理店振込分と、現地支払分にわかれます。前者は事前振込。後者は現金支払です）

- ① **旅行代理店振込分**：往復航空券（エコノミークラス）＋ローマ2泊（2人1部屋、朝食込み）＋ミラノ2泊（2人1部屋、朝食込み）＋ローマ＝フォルリ間・フォルリ＝ミラノ間の鉄道代金＝【およそ 29 万円】（最終調整中）
- ② **現地支払分**：ファッジョーリ農場滞在費（6泊6日の宿泊費、3食、飲み物代、入場料・入館料、材料代、手数料、資料代、諸経費等すべて含む）＋貸切バス代（農場滞在中の移動）＝1900 ユーロ＋400 ユーロ＝2,300 ユーロ

の合計となります。

逆に、期間中に含まれないものとしては、ローマおよびミラノでの昼食代、夕食代、自由散策時の経費、お土産等の購入費などのみです。

それ以外の期間中については3食飲み物すべて込みとなります。

1. 見積もりは、航空券はエコノミー、ホテルはツインで見積もっています。ホテルでシングルのご希望があればご連絡下さい。

2. ファッジョーリ農場滞在中は、アパートメント形式のお部屋（1部屋は基本的に2名、アパートメントあたり4～5名）のため、シングルを希望の場合、農場近くの別のアグリツーリズムに泊まることは可能ですが、学部学生のみなさんは事情がない限り、同学年の学生と同じ部屋、アパートメントとなります。

3. 旅行代理店ですが、今年度は見積合わせの結果、HIS をお願いすることになりました。東京以外の出発地の方については国内便との接続、旅程や便の変更等のご相談は直接お願いいたします。また、領収書の発行は、旅行代理店振込分についてのみ可能です。

4. ファッジョーリ農場滞在経費については、領収書を発行いたしません。ただし、要相談ですが発行は可能です。領収書を必要とされる方は必ず事前に工藤までご相談下さい。上記金額は実質的に付加価値税分を減額してあるため、領収書を必要とされる方については付加価値税をいただくことになります。なお、ファッジョーリ農場滞在経費については、オーナーのファウスト・ファッジョーリさんのご厚意で学部学生については割引料金が適用されますので、学部学生の参加の場合は申し出て下さい。

2025 年度（2026 年春実施）イタリア・アグリツーリズモ・ワークショップ(スケジュール)

- 2 月 24 日（火） 東京国際空港（成田）指定カウンター集合。
16:55 QR809 便にて東京発ドーハへ。
23:45 ドーハ着。
- 2 月 25 日（水） 02:45 QR115 便にてローマへ。
06:45 ローマ着。
空港からホテルまで移動。ホテルにチェックイン後、自由行動。
ローマ市内泊（26 日も同一宿泊先）。
- 2 月 26 日（木） 朝食後、自由行動。午後、ローマ・トル・ヴェルガータ大学の研究者と懇談（予定）。ローマ市内泊。
- 2 月 27 日（金） 朝食後、チェックアウト（各自 2 泊分の宿泊税をお支払下さい）。
8:40 集合。ローマ・テルミニ駅より鉄道にて移動（ボローニャ乗換え）。
9:10 Roma Termini – 11:33 Bologna Centrale: Frecciarossa 9520
12:00 Bologna Centrale – 12:36 Forli: Intercity 607
エミリア＝ロマーニャ州のファッジョーリ農場（Fattorie Faggioli）へ。お農場の方の出迎え。昼食。昼食後、部屋割りと休憩。
夕方から農場スタッフ、農場でのプログラム、農場内施設の紹介。Fattorie Faggioli オーナーの Fausto Faggioli 氏より、アグリツーリズモ、エコ・フレンドリーでサステイナブルな農場に関する講義。質疑応答。
農場にてアペリティーヴォと夕食。
農場泊（Fattorie Faggioli、以下 3 月 4 日まで同）。
- 2 月 28 日（土） 朝食後、ベルティノーロ（Bertinoro）へ。ホスピタリティのまち Bertinoro 市 (http://www.comune.bertinoro.fc.it/servizi/notizie/notizie_homepage.aspx) にて Gessica Allegni 市長、観光協会事務局長らと懇談。
Ca' de Bè にて昼食。
農場に戻り、パスタおよびピアディーナ、アルトゥージのレシピに関する座学と料理教室。
元県農業政策担当評議員で EU 等のプロジェクト・マネージャを務める Gianluca Bagnara 氏より地域の農業政策についての講義と懇談。
農場にて夕食。農場泊。
- 3 月 1 日（日） 朝食後、ムッソリーニの生誕地として知られる Predappio 市 (https://www.comune.predappio.fc.it/servizi/notizie/notizie_homepage.aspx) を訪問。前市長と懇談。
Ca' de Sanzves にて昼食。
午後、Faggioli 氏が最初に手掛けたアグリツーリズモ Ca' Bionda

(<https://www.agriturismocabionda.it/>) に移動し、アグリツーリズムでの典型的な活動を体験。

夕方、Castello di Cusercoli

(https://castelliemiliaromagna.it/it/s/civitella_di_romagna/6085-castello_di_cusercoli) 訪問。地元のボランティア組織のメンバーより城の修復に関するプロジェクトの説明と懇談。現地でアペリティーヴォ。農場に戻り夕食。農場泊。

3月2日（月） 朝食後、フォルリ（Forli）へ。

Forli 市 (https://www.comune.forli.fc.it/servizi/notizie/notizie_homepage.aspx) 訪問。GianLuca Zattini 市長、Andrea Cintorino 観光担当評議員、Valerio Melandri 文化政策担当評議員らと懇談。

ボローニャ大学フォルリキャンパスにて、通訳・翻訳学部の Gloria Bazzocchi 教授、日本語学科の Motoko Ueyama 准教授および学生らと懇談。市内にて昼食。

現地の学生の案内で市内散策。

農場への帰途中、「ワインと味覚の道」を構成する生産者の中から、地元のワイナリー（Cantina Sociale di Cesena。組合組織。www.cantinacesena.it）を訪問。エノログによるワインに関する説明と試飲。

農場にて夕食。農場泊。

3月3日（火） 朝食後、チェルヴィア（Cervia）へ。エトルリア時代から続く塩田で有名な市。皇帝に塩を献上していたことで知られる。「塩の道」の出発点。「塩の博物館」（Museo del Sale “MUSA” : <http://musa.comunecervia.it/>, www.salinadicervia.it)<http://www.salinadicervia.it/>）を見学、元塩田職人からなるボランティア組織のオスカーさん、アウグストさんから説明を受ける。

チェルヴィア近郊にて魚料理の昼食。

午後、ソリアーノ・アル・ルビコーネ市（Sogliano al Rubicone, www.comune.sogliano.fc.it）訪問。地元のスローフードの一つであるフォルマッジョ・ディ・フォッサ（Formaggio di Fossa。地中の甕の中で発酵させる熟成チーズ。スローフード認定されている。www.formaggiodifossa.it）の Brandinelli 工房をオーナー、マリーノ氏（www.fossebrandinelli.it）の案内で見学、試食。

農場に戻り夕食。農場泊。

3月4日（水） 朝食後、Civitella di Romagna 市(http://www.comune.civitella-di-romagna.fc.it/servizi/notizie/notizie_homepage.aspx) の Claudio Milandri 市長らと懇談。

サンタ・ソフィア (Santa Sofia) 市に移動。同市の Daniele Valbonesi 市長 (http://www.comune.santa-sofia.fc.it/servizi/notizie/notizie_homepage.aspx) らと懇談。

伝統的な染色（型押し）工房 Peromatto (<http://www.peromatto.com>) 訪問。オーナーの起業家 Antonio Bandini 氏、Giulia Serafini 氏より説明、実演と体験。

Galeata のアグリトゥリズモ La Pettola にて昼食。

昼食後、Galeata 市

(https://www.comune.galeata.fc.it/servizi/notizie/notizie_homepage.aspx) 訪問。市評議員と懇談。

農場のワインを製造している元家族経営のワイナリー (Poderi dal Nespoli 社、www.poderidalnespoli.com) 訪問。持続可能な施設見学とワイン説明、試飲。

農場に戻り夕食。ワークショップの評価と懇談。農場泊

3月5日（木）朝食後、チェックアウト。

Forlì 駅より鉄道にてミラノに移動（ボローニャ乗換）。

Forlì (09:31) - Bologna Centrale (10:26) Regionale Veloce 3908

Bologna Centrale (10:56) - Milano Centrale (11:58) Frecciarossa 9618

ミラノ着。ホテルに移動しチェックイン。自由行動。ミラノ市内泊（6日も同じ）。

3月6日（金）朝食後、自由行動。午後、ミラノ・カトリック大学の研究者と懇談（予定）。ミラノ市内泊。

3月7日（土）朝食、チェックアウト。

8:55 QR124 にてミラノ発。

16:40 ドーハ着。

20:05 QR806 にてドーハ発。

東京に向けて帰国の途へ。機中泊。

3月8日（日） 11:55 東京国際空港成田着。解散。お疲れさまでした！

滞在先アグリトゥリズモ（2月27日～3月5日）

Borgo Basino - Fattorie Faggioli

Via San Giovanni n.41 47012 Civitella di Romagna loc Cusercoli (FC)

Telefono e Fax (39) 0543 989826

e-mail: ff@fattoriefaggioli.it

www.fattoriefaggioli.it